



平成 21 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 コーエーテックホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松 原 健 二  
(コード番号 3635 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 CFO 浅 野 健 二 郎  
(TEL 045-562-8111)

## 平成 22 年 3 月期の連結業績予想の修正及びグループ経営の基本方針に関するお知らせ

### 1. 業績予想の修正

平成 21 年 4 月 1 日に公表しております平成 22 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

(1)平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	42,000	7,300	8,300	4,700
今回修正予想(B)	43,000	7,400	8,400	4,700
増減額(B-A)	1,000	100	100	-
増減率(%)	2.4%	1.4%	1.2%	-

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)52円36銭(期初発行済株式数89,769,479株により算出)

(2)平成 22 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	14,000	1,500	1,300	1,250
今回修正予想(B)	14,000	1,630	1,430	1,380
増減額(B-A)	-	130	130	130
増減率(%)	-	8.6%	10.0%	10.4%

### 2. 修正の理由

前回発表時から経営統合によるのれんの償却費用が増加する見込みです。一方、統合効果をより迅速に実現するために、グループ全体の経営資源配分、事業計画について見直しを行いました。グループ内の開発リソース、知的財産権の戦略的な活用、国内オンラインゲーム運営の効率化及び国内外のグループ販社の有効活用等を通じ、第 3 四半期以降、連結売上、利益ともに増加する見込みです。以上を踏まえ、今回連結業績予想を修正することと致しました。なお、個別業績予想については変更ありません。

(参考) 平成 22 年 3 月期の個別業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期	350	40	40	24
通 期	3,700	3,000	3,000	3,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 33 円 42 銭 (期初発行済株式数 89,769,479 株により算出)

### 3. 利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけております。利益還元の基本方針としては、「配当金に自社株買付を加えた連結年間総配分性向 50%、あるいは 1 株当たり年間配当 50 円」を目処に、長期的な安定配当を念頭に置きつつ、1 株当たり配当金の増大、株式の無償分割、及び自社株買付を状況に応じて決定し、株主の皆様のご支援にお応えしてまいります。

内部留保資金に関しましては、新規事業の開発、高い成長が見込まれる分野に投資し事業拡大を図ってまいります。

基準日	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成 22 年 3 月期予想	-	-	-	30.00	30.00

また、今後の収益の拡大を目指し、統合の効果を着実かつ迅速に創出すべくコーエーテクモグループの中期計画を策定してまいります。

### 4. 経営の基本方針

平成 21 年 4 月 1 日、テクモ株式会社と株式会社コーエーはグローバルベースでのより充実した経営基盤と大きな成長機会の獲得により企業価値を最大限に高めることを目的に、両社の持株会社となる当社「コーエーテクモホールディングス株式会社」を設立し、コーエーテクモグループとして新たなスタートを切りました。

当社グループは、「創造と貢献」という経営理念のもと、独創的なエンターテインメントの創造を通じて、世界中の人々の心を豊かにする「世界 NO.1 のエンターテインメント・コンテンツを創発する企業グループ」としてお客様や株主の皆様から期待と信頼を寄せられる企業となり、長期的な発展を目指します。その実現には以下の経営方針及び長期戦略をもってあたります。

#### 【経営方針】

##### (1) お客様に最高の感動を

革新的な商品・サービスの提供を通じて、お客様に最高の感動をお届けします。

##### (2) 国際社会への貢献

良き企業市民としての社会的責任を果たし、国際社会に貢献します。

##### (3) 活力に満ちた会社の実現

社員一人ひとりがチャレンジ精神を存分に発揮し新たな価値を創造する、活力に満ちた会社を実現します。

##### (4) 株主価値の最大化

効率的なグループ経営を推進し、継続的な成長を果たすことにより、株主価値の最大化を目指します。

**【長期戦略】**

- (1) 新しいエンターテインメント・コンテンツの創造（コンテンツ・クリエーション）
- (2) コンテンツのマルチユースの展開（コンテンツ・エキスパンション）
- (3) グローバル化の推進（グローバルイゼーション）
- (4) 経営資源配分の最適化（ポートフォリオマネジメント）

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上